

2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名	日本国憲法		教員氏名	曾我幸男	
科目ナンバー	I-1-4				
学年	2年		開講学期	後期	
授業形態	講義		単位数	2単位	
必修・選択	幼免必修		実務経験	弁護士	29年
テーマ	日本国憲法の基本的な問題について、具体的な事例を踏まえながら立体的に理解する				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	東京弁護士会に所属する弁護士。成年後見事件、相続事件、会社関係の事件のほか、様々な一般民事事件、刑事事件なども担当。授業では、これらの実務経験も踏まえて、毎回学ぶべきテーマを設定し、できるだけ具体的な事例に基づく講義を行うとともに、個別の事例や問題点などについて、学生との間で質疑や意見交換をしながら、憲法に関する基本的な理解を深めていく。講義形式をとるが、学生にも随時発言を促して積極的に参加してもらい、できるだけ双方向的な授業を目指す。				
授業の到達目標	①知識・理解 基本的人権の内容・重要性、民主政治の仕組みについて説明することができる。				
	②技能 社会で起きた出来事から、憲法上の問題点を抽出し、憲法の観点から考察できる。				
	③態度 各種事例に関する議論について、積極的に参加して討議できる。				
テキスト	目で見える憲法【第6版】 初宿正典ほか 有斐閣				
参考書					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験・ 筆記試験		実施しない。		
	授業内課題・ 発表等	80	授業内で出す課題(レポート)30%、授業内で実施する達成確認のテスト50%。		
	参加度・ 学習態度等	20	授業態度と意欲、質問に対する回答。		
その他					
再試験	行う	行なわない 場合の 理由			

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	憲法の基本、立憲主義、憲法の基本三原則、こども・外国人の人権を学ぶ	
	授業外学習	(予習)テキストPART I、II 1権利の主体を読み、憲法の基本原理と人権について下調べすること。(復習)立憲主義の意味を理解すること。こども及び外国人の人権がどこまで認められるのか、具体例にしたがって検討すること。	210分
第2回	テーマ 内容	幸福追求権、プライバシー権、自己決定権について学ぶ	
	授業外学習	(予習)テキストPART II 2を読み、プライバシー権の内容について下調べしてくる。 (復習)授業で扱ったプライバシーや自己決定権に関する各事例に関するディスカッションを踏まえて自分の考えをまとめる。	210分
第3回	テーマ 内容	法の下での平等について学ぶ	
	授業外学習	(予習)テキストPART II 3を読み、平等原則違反が問題になったものとしてどのような事例があるか下調べしておくこと。(復習)授業で提示されたレポート課題に取り組む。	210分
第4回	テーマ 内容	思想良心の自由、信教の自由について学ぶ	
	授業外学習	(予習)テキストPART II 4①②を読み、信教の自由とはどのようなものなのか、下調べしてくる。 (復習)身近なところで信教の自由や政教分離原則違反が問題となる事例がないか調べる。	210分
第5回	テーマ 内容	表現の自由について学ぶ(その1)	
	授業外学習	(予習)テキストPART II 4③を読み、表現の自由とはどういうものか、なぜ重要とされているのか、下調べしてくる。 (復習)表現の自由の重要性和、民主政治との関係について掘り下げて考える。	210分
第6回	テーマ 内容	表現の自由について学ぶ(その2)、学問の自由、経済的自由について学ぶ	
	授業外学習	(予習)テキストPART II 4④、5を読み、経済的自由とはどういうものか下調べしてくる。 (復習)職業選択の自由と財産権の保障について、具体的な事例を踏まえて掘り下げて考えること。	210分
第7回	テーマ 内容	人身の自由、適正手続の保障(罪刑法定主義等)について学ぶ	
	授業外学習	(予習)テキストPART II 6、7を読み、罪刑法定主義について下調べをしていく。 (復習)授業で扱った事例について、自分なりに考えて、意見をまとめる。	210分
第8回	テーマ 内容	社会権(生存権、労働基本権)について学ぶ	
	授業外学習	(予習)テキストPART II 8を読み、なぜ社会権が生まれたのか、なぜ必要なのかを調べていく。 (復習)社会権、労働基本権について掘り下げて考える。労働基準法により労働条件がどのように定められることになっているか具体的に調べる。	210分
第9回	テーマ 内容	参政権、国務請求権、国民の義務、三権分立、行政権と議院内閣制を学ぶ	
	授業外学習	(予習)テキストPART II 9、10、11を読み、参政権の内容を下調べしてくる。 (復習)テキストPART III 2を読み、内閣総理大臣の権限や議院内閣制の趣旨を掘り下げて考える。	210分

第10回	テーマ 内容	立法権と国会の制度を学ぶ	
	授業外学習	(予習)テキストPARTⅢ1を読み、議員の地位、及び法律が成立する過程を下調べしてくること。(復習)衆議院の優越がどのような場面で認められているか、なぜ衆議院が優越するのか、掘り下げて考える。	210分
第11回	テーマ 内容	司法権の意義と裁判のしくみ、違憲審査権について学ぶ	
	授業外学習	(予習)テキストPARTⅢ3を読み、裁判所の種類、裁判のしくみを下調べしてくること。(復習)裁判官の独立、司法権の独立の意味、司法審査権について掘り下げて考える。	210分
第12回	テーマ 内容	天皇制、財政制度、地方自治、憲法改正とその限界について学ぶ	
	授業外学習	(予習)テキストPARTⅢ4～7を読み、天皇の地位、天皇が行うことを下調べしてくること。(復習)地方自治の本旨、憲法改正とその限界などについて、掘り下げて考えること。	210分
第13回	テーマ 内容	具体的事例に基づき、憲法を横断的に理解する	
	授業外学習	(予習)これまでの配布資料を再確認する。 (復習)事例問題について自分の考えをまとめて整理する。	210分

課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポート課題については、添削したうえで返却するとともに、授業内で詳しく説明してフィードバックを行う。

2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名	日本国憲法		教員氏名	豊島健司	
科目ナンバー	I-1-4				
学年	2年		開講学期	後期	
授業形態	講義		単位数	2単位	
必修・選択	幼免必修		実務経験	弁護士	28年
テーマ	日本国憲法について事例を通じて考える。				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	神奈川県弁護士会に所属する弁護士。刑事、民事、家事事件を担当。講義では具体的事例を前提として、様々な見方があることを学び、憲法の趣旨に基づく解決する力を高める。また、新しい人権課題や子どもの権利の問題も積極的に取り入れ、憲法が身近な問題であることを理解する。講義形式を取りつつ、復習の機会を作り、理解を深めたい。				
授業の到達目標	1 立憲主義、法の支配、個人の尊厳等、憲法の基本的な理念を理解することができる。 2 事例に接することで自らの意見を持つこと、他者の意見についても検討することができる。 3. 子どもの権利等人権問題について深く理解することができる。				
テキスト	無し。レジュメで行う。				
参考書	目で見える憲法(第6版) 初宿正憲ほか 有斐閣				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				
	その他:				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験・ 筆記試験	60	定期試験は実施しません。授業内テストを実施します。		
	授業内課題 ・発表等	20	レポートの作成		
	参加度・ 学習態度等	20	リアクションペーパーの作成		
	その他				
再試験	行う	行なわない 場合の 理由			

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	憲法の理念(立憲主義、法の支配、個人の尊厳)、人権の理念、国民主権、権力分立	
	授業外学習	授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第2回	テーマ 内容	人権の内容、人権享有主体、幸福追求権(13条)、新しい人権(その1)(13条)	
	授業外学習	授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第3回	テーマ 内容	新しい人権(その2)(13条)	
	授業外学習	授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第4回	テーマ 内容	法の下での平等(14条)、婚姻の自由(24条)	
	授業外学習	授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第5回	テーマ 内容	思想・良心の自由(19条)、信教の自由(20条)、学問の自由(23条)	
	授業外学習	授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第6回	テーマ 内容	表現の自由(21条)、集会・結社の自由(21条)、通信の秘密	
	授業外学習	授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第7回	テーマ 内容	居住移転の自由、職業選択の自由(22条)、財産権(29条)	
	授業外学習	授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第8回	テーマ 内容	生存権(25条)、教育を受ける権利(26条)、勤労の権利(27条)、選挙権(15条)等	
	授業外学習	授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第9回	テーマ 内容	適正手続(31条)、裁判を受ける権利(32条、37条)、令状主義(33条、35条)、弁護士依頼権(34条、37条)、黙秘権(38条)、死刑制度	
	授業外学習	授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分

第10回	テーマ 内容	授業内テスト(憲法13条等について)、国会(41条以下)、国民主権、選挙制度、内閣(65条以下)	
	授業外学習	レジュメの内容を確認する。選挙制度について考える。	210分
第11回	テーマ 内容	司法権(76条以下)、違憲審査権(81条)、裁判の公開(82条)、裁判員裁判制度	
	授業外学習	レジュメの内容を確認する。裁判員裁判制度について考える。	210分
第12回	テーマ 内容	授業内テスト(憲法21条等について)、財政(83条以下)、地方自治(92条以下)、天皇制(1条以下)、憲法改正(96条)、最高法規(97条以下)	
	授業外学習	レジュメの内容を確認する。憲法改正について考える。	210分
第13回	テーマ 内容	平和主義(9条)	
	授業外学習	レジュメの内容を確認する。近時の問題について考える。	210分

課題に対するフィードバックの方法

授業で扱った内容を復習します。リアクションペーパーを利用した際は、学生の意見を踏まえて次回以降の講義のテーマにします。